

## 県立農林大学校学生と県議会議員との意見交換会結果報告

開 催 日	令和4年10月21日（金）
開 催 場 所	県立農林大学校（新庄市）
出 席 議 員	加賀正和、船山現人、菊池大二郎、梅津庸成、梶原宗明
参 加 者	学生 107名
意見交換の概要	<p>「今後の農業経営・林業の発展方策等」をテーマに、意見交換を行った。</p> <p><b>【意見の主な内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の頃、農業は「3Kの職業だ」と言われたことがある。しかし、私はそのようなイメージを全く持っていない。農業を発展させるためには、私のような意識を持った若い担い手を育成する必要があると思う。</li> <li>・ 農業の発展のためには、県内の人材だけでなく、県外からの新規就農者の参入が重要だと思う。令和6年に開学する「東北農林専門職大学（仮称）」は県外の人材を県内に呼び込む良い機会になると思う。</li> <li>・ 農林大学校を卒業した後、削蹄師として県外の農業法人に就職する予定だが、畜産法人等では、産休・育休取得の実績がほぼないと聞いている。出産時などに休暇を取得しやすい環境づくりに力を入れてほしい。</li> <li>・ 森林ノミクスの推進に向けて「広葉樹の利用（建築用材）」がキーワードになっている。一方、コロナ禍によるウッドショックも落ち着き、製材所でも受入れ制限が始まり、木材価格の低迷や需要の減少が予想される。木材価格の安定と需要拡大を図りながら、林業分野での雇用を創出していく必要がある。</li> </ul>